

第2次橋本市長期総合計画

実施計画

令和7年度 主要事業



人輝き あたたかさ湧きでる
みんなで創造する
元気なまち 橋本

実施計画の構成と期間

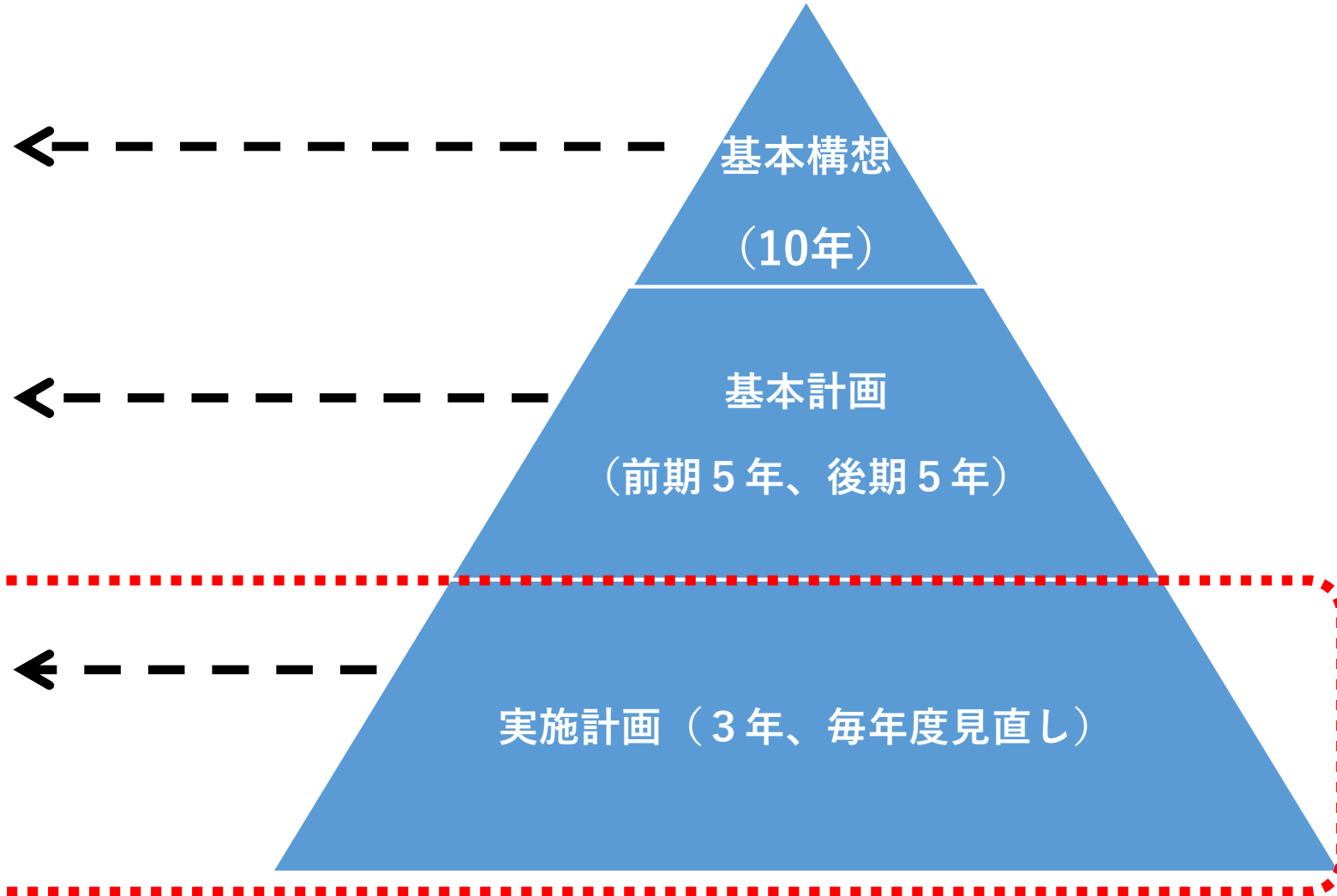


総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成されており、それぞれに期間を設定しています。

「基本構想」は、橋本市がめざす将来像や、まちづくりの基本目標を設定し、これらを達成するための施策展開の方向性を示しています。

「基本計画」は、基本構想に掲げる目標等を実現するための施策を示し、分野別に体系化しています。

「実施計画」は、基本計画に位置付けられた施策の具体的な事業を示しています。計画期間を3年とし毎年度見直します。





長期総合計画の基本計画に位置付けられた施策について今後3年間の方向性や事業内容を示したものです。

令和7年度の実施計画のうち主要なものについて以下にまとめました。

目次

- 01 各施策重点化事業（重点プロジェクト事業）
- 02 行政推進の基本姿勢重点化事業
- 03 DXの推進

0 | 施策別 重点化事業

総合計画 体系



3つの基本目標 9つの政策 37の施策項目 により 元気なまち を創出

①ともに創る ～産業の振興と雇用を創出し定住できるまち～

1 賑わいと活力を創出する地域産業づくり 2 雇用の創出と就労環境づくり 3 充実した情報整備と魅力的なまちづくり

②ともに守る ～安全・安心な暮らしを守り支えるまち～

4 安全・安心な暮らしと、生活の利便性を支える都市基盤づくり 5 豊かな自然と暮らしが調和する生活環境づくり
6 住み慣れた地域で安心して暮らせる持続可能な仕組みづくり

③ともに育てる子どもから高齢者までともに育み学び合うまち

7 一人ひとりの個性が尊重され思いやりのあるまちづくり
8 妊娠・出産、子育てから教育まで切れ目のない支援とそれを支える地域づくり
9 生涯にわたる生きがいづくりと心の豊かさを高めるまちづくり

行政推進の基本姿勢

1 協働によるまちづくり 2 多様な連携の推進 3 持続可能な行政運営

重点プロジェクト



長期総合計画の基本構想において掲げた将来の目標人口である6万人維持にむけ3つの観点から重点プロジェクトを設定しています。

重点プロジェクト関連する事業に以下のマークをつけています。



子

① まち全体で子どもを育む
(出生数の改善)

合計特殊出生率を改善するとともに、ファミリー層の転入促進を通じて出産を希望する人口を増やし、出生数の改善を図ることで、人口の減少速度を緩やかにし、目標人口の達成を目指すものとします。

安心できる出産・子育て
経済的負担軽減
インナープロモーション



魅

② まちの魅力をみがき伝える
(ファミリー層の転入促進)

ファミリー層からの橋本市に対する評価は、特に子育て支援において高くなっています。ファミリー層のさらなる促進を図ることで、人口の減少速度を緩やかにし、目標人口の達成を目指すものとします。

子育て環境
遊び・居場所
アウトタープロモーション



住

③ 住み続けられるまちをつくる
(転出超過の抑制)

進学や就職を機とした市外転出は避けられないと予想されますが、市内の住みやすさ、働きやすさの向上を図り、市外に流出する人口の減少速度を緩やかにすることで、目標人口の達成を目指すものとします。

住みやすさ
働きやすさ
産業の稼ぐ力
愛着・定住



①ともに創る ～産業の振興と雇用を創出し定住できるまち～

▶地場産業支援事業（高野ロパイルブランディング事業）＜産業振興課＞

新規

住

高野ロパイルについては、BtoBだけでなく、都市圏（大阪）での製品販売会などBtoCへの支援も行い新たな販路開拓を目指すとともに、民間活力の導入により高野ロパイルの産地ブランドの確立を図ります。

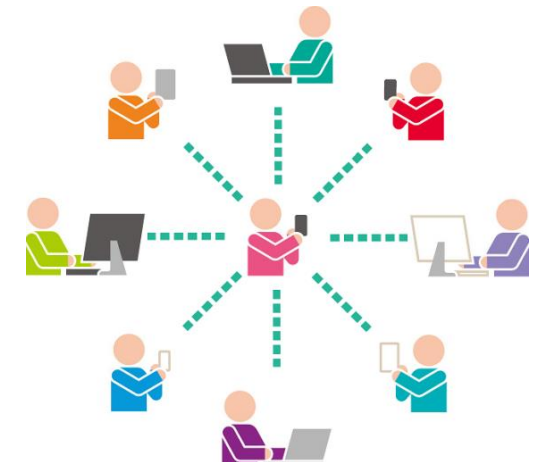


▶デジタル分野の地域おこし協力隊活用＜産業振興課＞

新規

住

デジタル技術であるNFTを活用したふるさと納税の返礼品の作成や、観光、産品、地域の魅力発信（シティプロモーション）、オンラインでの関係人口づくりに取り組みます。



①ともに創る ～産業の振興と雇用を創出し定住できるまち～

▶紀望の里北側用地整備事業＜農林振興課＞

新規

魅

紀望の里北側用地に、自然環境を満喫し、家族連れが楽しめる全天候型の施設を建設します。施設内には舞台、木製遊具、人工芝を設置し、イベントや子どもの遊び場など人が集う拠点を創出します。

R7年度：設計 R8年度：工事



▶橋本ではたらく人紹介 BOOK＜産業振興課＞

新規

住

市内の学生が市内での就業イメージを持てるように業種別の仕事の内容や企業を紹介する「(仮称)橋本ではたらく人紹介BOOK」を作成し、学校への配布やHPへの掲載を行い将来の市内就業につなげます。



①ともに創る ～産業の振興と雇用を創出し定住できるまち～

▶戦略的Instagramの活用<シティプロモーション課>

新規

魅

住民に向けた発信（インナープロモーション）と市外に向けた発信（アウトプロモーション）を行い、転出抑止と転入促進を図るためターゲット層に届く戦略的なプロモーションを行います。



▶市制20周年事業<秘書広報課>

新規

住

令和8年3月1日に市制施行20周年を迎えるにあたり、市民や市に関わる人みんなで祝い、市の歴史・魅力を再認識するとともに、新たな未来へ向かって飛躍、発展する契機となるよう、20周年記念事業を実施します。

キャッチコピー

ロゴマーク

未来へもっと 橋もっと



▶インナープロモーション充実事業<秘書広報課>

新規

子

市ホームページの子育て情報特設サイト「はぴもと」を充実させ、特集記事や映像などの各コンテンツの充実を図り、本市の子育ての魅力を伝えます。



②ともに守る ～安全・安心な暮らしを守り支えるまち～

▶地域防災計画改訂、ハザードマップ改訂(R6.3補)＜危機管理室＞

新規

地域防災計画の改訂や受援計画の作成をします。また最新の土砂災害警戒区域、河川の浸水想定区域、アンダーパス等の情報を地図上に明示したハザードマップを作成し、市内各世帯に配布します。



▶化学消防車・救急車・ドローン配備事業＜消防本部＞

新規

橋本北消防署に化学消防自動車を配備し、危険物災害への対応力を強化します。また、近年多様化・激甚化する災害に対応し、迅速かつ効率的で安全な救護活動を遂行するためにドローンを配備します。



▶木造住宅耐震化促進事業＜建築住宅課＞

拡充

能登半島沖地震等に起因する住宅耐震化のニーズの高まりに対応するため、耐震改修工事補助を拡充し、耐震化を促進します。

②ともに守る ～安全・安心な暮らしを守り支えるまち～

▶運転免許証自主返納支援事業＜地域振興室＞

新規



65歳以上で免許を自主返納等をされた方に、ハシモポイントを付与し、高齢者の交通事故の減少を図ります。



▶斎場太陽光発電設備導入事業＜生活環境課＞

新規

既存の自家発電機に加え、橋本市斎場の屋根への太陽光パネルと蓄電池を設置することで、災害時の斎場運営と、平時の経費削減、二酸化炭素排出抑制を図ります。



▶橋本駅前整備の事業化検討＜まちづくり課＞

継続

魅

橋本駅前の課題、民間事業者の関心度調査等をもとに橋本駅前に導入する機能、事業手法及び事業成立性等について検討を行います。



②ともに守る ～安全・安心な暮らしを守り支えるまち～

▶市道維持修繕（舗装修繕、修繕）＜都市整備課＞

新規

道路等の効率的かつ効果的な予防修繕工事や、軽微な損傷箇所の緊急・応急的な修繕を行うことで安全性の確保及び施設の長寿命化を図ります。



▶空家等譲渡及び定住促進助成金＜建築住宅課＞

新規

住

空家等（更地含む）の無償譲渡を受けて建替（新築含む）して定住する方に助成し、空家削減と定住促進を図ります。



▶生活支援体制整備事業の支援活動の充実＜いきいき健康課＞

新規

住

第2層協議体で創出された支援活動について、活動の見える化や、担い手養成講座の開催、生活支援・移動支援活動に対するハシモポイントの付与など担い手の確保を図ります。



③ともに育てる ～子どもから高齢者までともに育み学び合うまち～

▶1 か月児健康診査費助成事業

▶産婦健康診査費助成事業

<子育て世代包括支援センター>

新規

子

1か月児健康診査（発育・発達）及び産婦健康診査（身体的機能の回復や授乳状況及び精神状態の把握等）の費用助成により、受診促進を図り、早期発見と早期支援に繋げ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を強化します。

▶小児成育医療支援事業<子育て世代包括支援センター>

新規

子

公立大学法人和歌山県立医科大学に委託し、医療受診や心理士による相談の機会を確保することで、きめ細かな発達支援を推進します。



③ともに育てる ～子どもから高齢者までともに育み学び合うまち～

▶ICT教育の充実＜学校教育課＞

新規

子

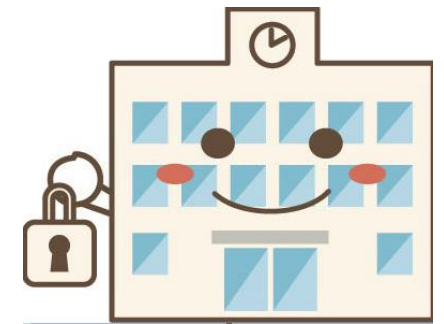
中学校への指導者用デジタル教科書の整備を行い、これまで以上にICT機器を活用した学習活動を展開するとともに、児童生徒の学習用端末の更新や持ち帰りによる家庭学習の充実を図ります。また、不登校児童生徒や日本語指導が必要な外国人児童生徒の教育支援のために、非常勤講師の配置やICTの活用を行います。



▶学校防犯対策事業＜教育総務課＞

新規

市立小中学校への不審者侵入対策として防犯カメラの整備や門扉・フェンス改修を令和7～8年度の2か年で行い、学校の安全性を高めます。



▶高野口中学校基本構想・基本計画策定事業＜教育総務課＞

新規

高野口中学校の移転候補地の検討も含む基本構想・計画を策定し、最適な教育環境の構築を図ります。

③ともに育てる ～子どもから高齢者までともに育み学び合うまち～

▶郷土資料館開館＜生涯学習課＞

新規

住

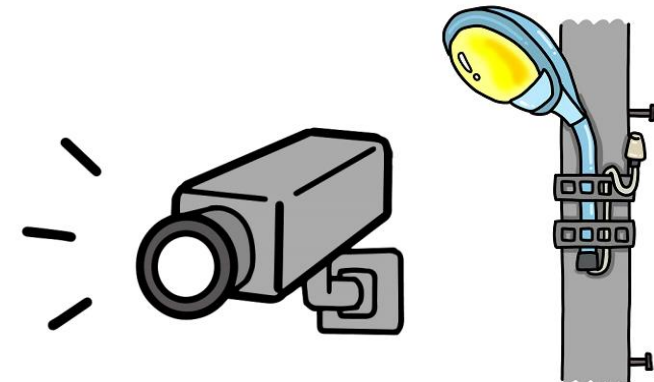
リニューアルオープンする郷土資料館では、交通の要衝として発展した橋本市の歴史について「みち」をテーマに常設展示しています。そのほか、特別展示や企画展示の実施、講座を実施し、郷土の歴史、文化、自然に対する理解を深め、郷土愛の醸成を図ります。



▶区・自治会LED防犯灯更新・カメラ設置補助事業＜地域振興室＞

新規

犯罪のない安全・安心なまちづくりをより一層推進するため、市内の区・自治会を対象に、LED防犯灯の更新・新規整備や防犯カメラの設置について、その費用の一部を補助します。



02 行政推進の基本姿勢 重点化事業

行政推進の基本姿勢

▶Hashi-Mo（ハシモ）活用事業による経済循環、施策・市民協働の推進

拡充

橋本市デジタル地域通貨（ハシモ）を活用し、各施策の促進や地域課題解決の促進のためポイントを拡大します。また、プレミアム付デジタル地域通貨では郵便局でのチャージ対応を導入するなど、利便性やサービスの向上を図ります。

【ハシモ活用事業】



さんかくポイント

ボランティア、市の講座や教室などへの参加



推進ポイント

生ごみリサイクル、生活支援・移動支援活動、
運転免許自主返納、空き家バンク、特定健診受診 など



プレミアム付デジタル地域通貨事業

プレミアム率20%による市内経済循環の向上



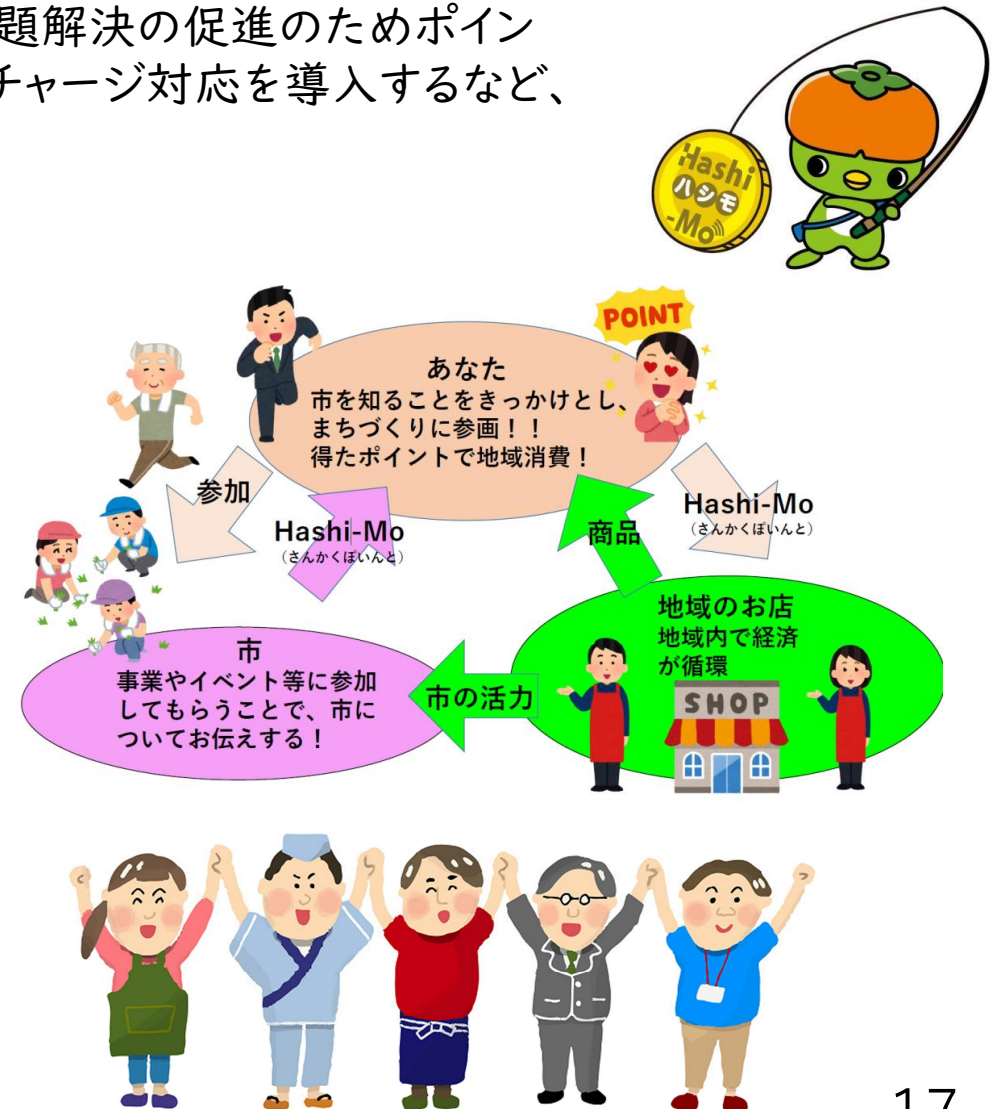
転入夫婦新築住宅取得補助金

30万円のうち5万円分をハシモを付与



商工団体によるハシモ活用事業

商工関係団体での事業でハシモを付与



行政推進の基本姿勢

▶新庁舎整備事業＜政策企画課＞

新規

本庁舎等の老朽化に伴い、市民の利便性、サービスの向上、事務機能の効率化を図るため機能の検討、などの整備を行う。目指すべき姿や規模、概算事業費、事業手法など令和7年度、8年度において基本構想、基本計画を策定します。



▶窓口・バックオフィスのアウトソーシングの推進＜財政課＞

拡充

窓口や内部事務の一部でのアウトソーシングを推進し、捻出された人員をお困りごとの相談など行政の役割が増えたと見込まれる分野へ振り向けることにより、業務改革を進めると同時に市民サービスの向上へつなげます。



03 DX推進事業 主なもの

▶教育推進のDX事業＜教育総務課/学校教育課＞

新規

橋本市内の公立中学校において指導者用デジタル教科書を導入します。デジタル教科書を電子黒板と併せて授業で活用することにより、学習理解の向上、教員の負担軽減を実現します。

教室



▶きめ細かな教育支援体制構築事業＜学校教育課＞

新規

特別支援教育において多種多様な子どものニーズに的確に応えていくために、今までの教員の対応に加え、ICTを活用した特別支援教育の支援体制を構築することにより、質の高い教育を提供します。

誰一人取り残さない
学びを提供する

多様な子どもに学びを届けるために一人ひとりの実態に合わせた合理的配慮や指導内容を提案します。



子どもと向き合う
先生を支える

先生が安心して楽しく指導に臨めるよう、指導内容の考案と同時に、専門性向上を目指します。先生の業務負担を軽減し、子どもに向き合う時間を増やします。



切れ目なく
学びをつなげる

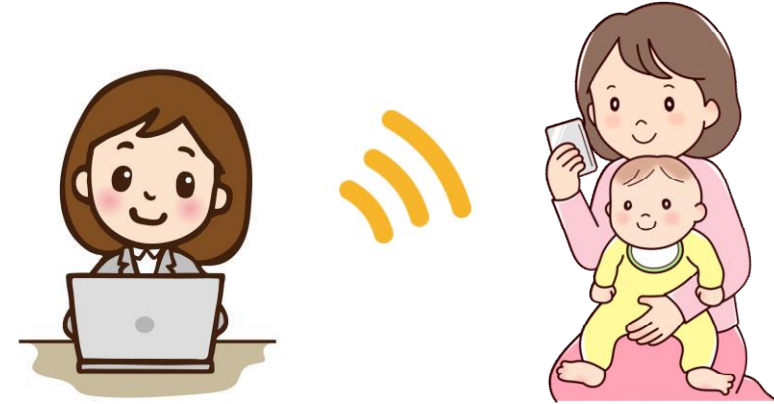
ICTを用いたデータを連携することで子どもの実態や指導内容を学校内や関係機関へスムーズに共有でき、切れ目のない支援体制の構築に貢献します。



▶電子母子保健ツールの導入＜子育て世代包括支援センター＞

新規

母子健康手帳の記録や管理、予防接種スケジュールの作成や、自治体から住民に対して、お知らせやイベント情報などを配信できる、子育て支援ツールを導入します。
本ツールにより、住民の利便性向上と自治体業務の効率化を図ります。



▶生成A I の活用＜政策企画課＞

新規

文書作成、企画立案補助など幅広い業務で生成AI（Chat GPT）を適切に活用することにより、職員の業務の効率化や業務改善を図ります。
また、市民サービスの向上につながるような活用方法も進めていきます。

